

未知の世界

パソコンに興味を持っていた私が、ここを受けたのは、7月の夏真っ盛りの頃でした。その頃、センターでは「お母さんの為のパソコン講座」という講習会を開催していました。私も、勉強の為ということで、その講習会に参加させてもらいました。しかし、お母さん方に私が、新人ということが分かるはずもなく、いろいろ質問されてしまうので、結局、頭に入らず、再度先生に同じ事を聞く羽目になってしまいました。

そんな講習会も最終回を迎える頃、長崎では当たり前になっている台風の為に、センターが停電になってしまい、参加者全員に電話を掛けたことが、私の初めての仕事らしい仕事となりました。「ここは、停電になると、何の仕事も出来なくなる」と言われ、本当にすることもなく、復旧を待つしかないということで、電気のありがたさを、あらためて実感していました。

講習会も終わり、自分の仕事に携わりはじめ、仕事内容を教えてもらい始めたのですが、さっぱりと言っていいほど、何を言っているのかわからない日々が続きました。「メールソフトは何がいいと思う?」「やはり、Eudora でしょう」「いやいや、WinYAT ですよ」といったようなことでしたが、その当時の私の頭の中は、「#×○@*!」といった状態で、まるで、宇宙語を聞いているようでした。

こんな風で、やっていけるのだろうか・・・と不安を抱く私に、仕事を伝授してくれた先輩は、「まあ、ぼちぼちでいいから、そんなに心配しないで」と、とても寛容な態度で接してくれました。自分の仕事も忙しいというときに、私のように物覚えの悪い後輩に引継をしなくてはならなかった先輩は、とても大変だったろうと思います。

先輩のコマンドを打つ手の早さを見て、早く私も仕事をこなせるようになりたいなあと思い、何度となく先輩の脳味噌を切り取って、自分にくっつけられたらいいのになあ、などと、とんでもないことを考えていました。

いまだに、学生からの質問や、早口で専門的な事をまくしたてられる電話におびえたりと、なさけない状態ではあるけれど、そのうちきっと、諸先輩方のように、すらすらと、質問に答えられるようになってやる!と思っています。

最後に、忙しいにもかかわらず、よく分からない用語や単語が日々出てきて、あたふたして質問をしにいく私に、とても分かりやすく解説をしてくれる先生方や、事務室の方には、とても感謝しています。

これからも、探求心をもって、いろいろな事を吸収できるように、努力し、成長していきたいと思っています。

R.I.